

『男子校という選択』

おおたとしまさ 著

日経プレミアシリーズ 新書変形並製 216頁 850円(税抜き) 発売中

小社新書「日経プレミアシリーズ」12月の新刊として、育児・教育ジャーナリストである、おおたとしまさ氏の著書を刊行しました。

「東大合格トップ10の8校は男子校」「ガリ勉は疎まれ、遊んでばかりいるのも格好悪い」「男子校の出身者は彼女ができない!？」——。共学化が進む中、中高の思春期を「男」だけで過ごす、その利点とはいったい何でしょうか。現役教員や在校生、卒業生への取材をもとに、「男の園」を徹底解剖します。

【本書の目次から】

- 第一章 男の子を取り巻く環境の何が変わったのか
- 第二章 「偏差値60の共学」より「偏差値54の男子校」
- 第三章 現任教員が本音で語る「男子校の良いところ、悪いところ」
- 第四章 バンカラ?それともアカデミック?「男の園」を解剖する
(男子校ガイド)
- 第五章 大切なことは、みんな学舎で教わった
(男子校OB著名人インタビュー)
- 第六章 海外では男子校の価値がこんなに高い
- 第七章 「脱・草食」のためにも、男子校のススメ



【著者紹介】

育児・教育ジャーナリスト。1973年東京生まれ。麻布中学・高校を経て、上智大学卒業。リクルートで雑誌編集に携わり、2005年に独立。数々の育児・教育雑誌で監修・企画・編集・執筆を行うほか、講演活動、メディアへの出演も多数。著書に『笑われ力』『パンプのネタ帖』『学習塾白書』などがある。心理カウンセラーの資格、中高の教員免許、私立女子小学校での教員経験がある。ポータルサイトのAll About「男の子育て」ガイドでもある。

【問い合わせ先】

日本経済新聞出版社 営業本部第2営業部宣伝担当 石橋廣紀
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル8F
Tel: 03-5255-2832 Fax: 03-5255-2865 E-Mail: hiroki.ishibashi@nex.nikkei.co.jp